

ボルネオサラワクの石炭

日沙商會がサラワクの開發に古くから努力してゴム園其他に成功を収めておつた事は周知の事實であるが全国に於ける石炭鉞區の開發に着目し、數回に亘り大規模の調査を行い、次に才一回の拠点炭鉞としてセラランチックの石炭採掘を実行したのである。内地から石炭専門の技術者も派遣し、採掘に要する一切の機械も現地へ發送した。そして實際に出炭出来る時になつて残念乍ら終戦となつたのである。此セラランチックの開發はボルネオ石炭開發の腰だめの仕事で本来の目的はレジヤン川上流に存布する廣大なる石炭鉞區の開發であつた。此の地方へは古賀技師其他數名の探者が進入し、實際に石炭のサンプルを大量に採取し、内地へ發送した。此の見本は川口の燃料試験所及鈴木商店横浜石炭液化試験所其他に發送して詳細なる品質の分析試験及實際の液化試験を行つたサラワク以外にブルネー地方の石炭の調査もこの前後に行つた。